

# テキストマイニングを用いた 地域一体型NST活動の普及要因と 専門職の役割認識

柴崎美紀<sup>1)</sup>、若林秀隆<sup>2)</sup>、望月弘彦<sup>3)</sup>、江頭文江<sup>4)</sup>、本田彰子<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科

2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター

3) クローバーホスピタル

4) 地域栄養ケア PEACH厚木

# 背景

- 地域におけるNST活動は自主的かつ先駆的な活動で、その構成や活動内容などはチーム独自の特徴を持っている
- 関わる専門職も、病院や施設と異なる在宅医療の現場では、どのように専門性を発揮できるのか試行錯誤で活動を行っているのが現状である

# 研究の目的

---

「地域一体型NST活動の普及要因」と「専門職の役割認識」について、広く栄養管理に関わる専門職の視点から明らかにすることを目的とした

# 研究方法

## 対象者

- 神奈川NSTメーリングリスト及び、Facebook「地域栄養ケアと多職種連携」のメンバーに依頼し、Web上から質問紙調査を実施した。
- 回答のあった79名のうち、有効回答を得た66名を対象とした

## 期間

- 平成23年11月～平成24年3月

## 分析

- 基本属性：「Excel2007」で単純集計を行い、
- 自由記載：「Text Mining Studio4.1」でテキストマイニングを実施した

# テキストマイニングとは…

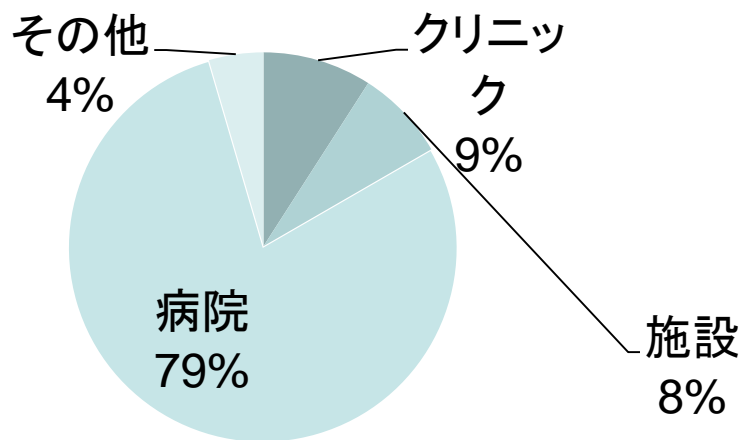
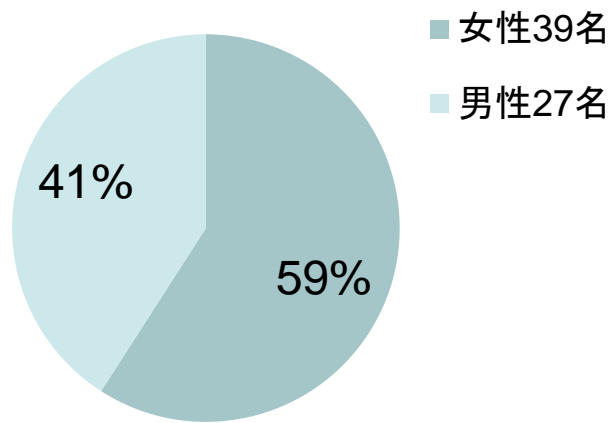
- 定型化されていない文章の集まりを自然言語解析の手法を使って単語やフレーズに分割し、それらの出現頻度や相関関係を分析して有用な情報を抽出する手法やシステム。
- 本研究での採用の理由
  - 客観的に分析の軸を検討できる
  - 人の手による分析では見えなかった結果が見えてくる



# 倫理的配慮

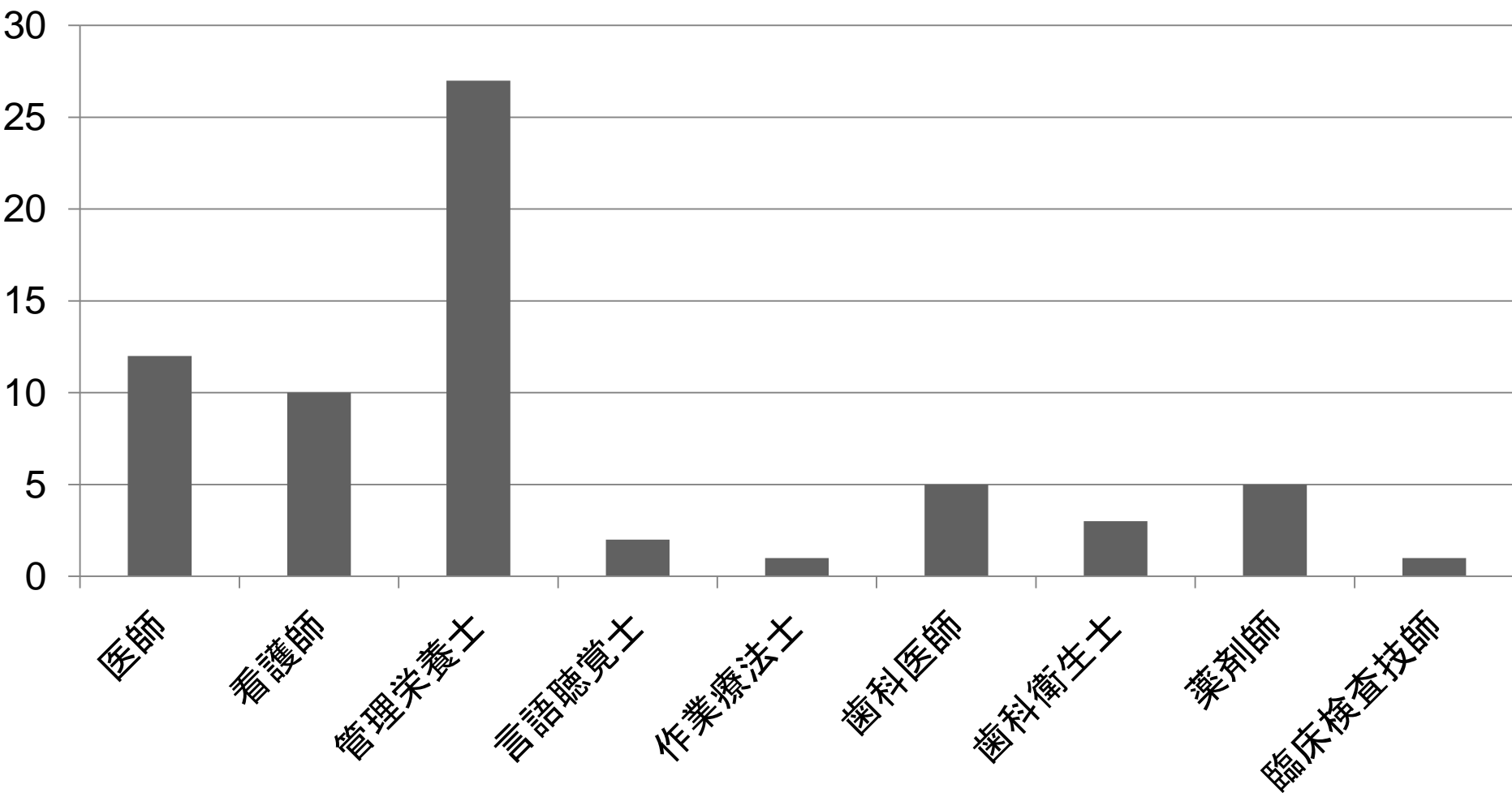
- 対象者には、文書で研究参加に伴う利益、不利益、個人情報保護等を説明した。
- 自由回答につき、回答を持って同意とみなした。
- この研究については東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認（1083号）を得た。

# 基本属性



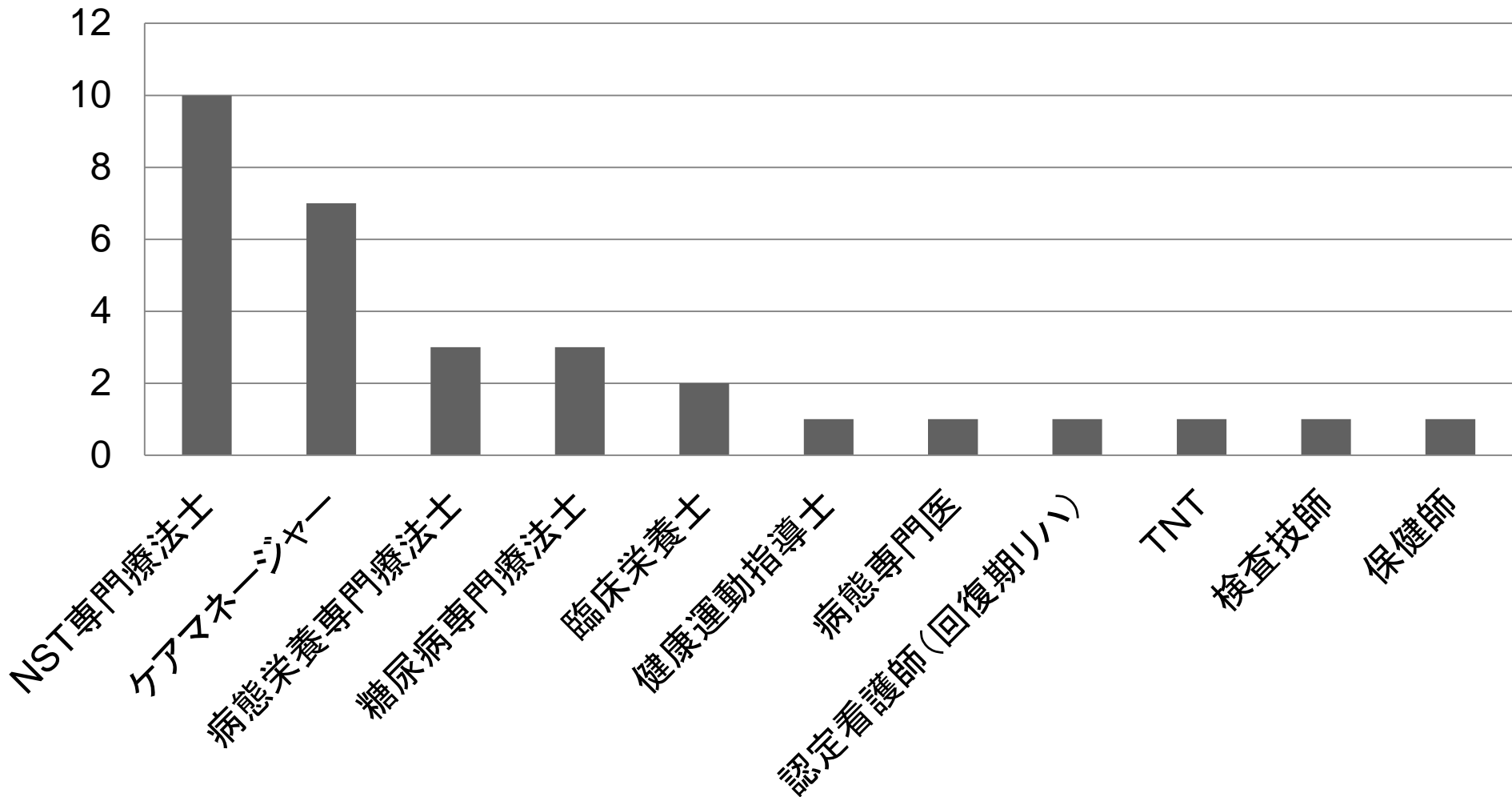
- 対象 66名
- 平均年齢 44.2歳
- 経験年数  
(社会人) 20.3年  
(現在の勤務先) 10.0年

# 職種





# その他に保有する資格

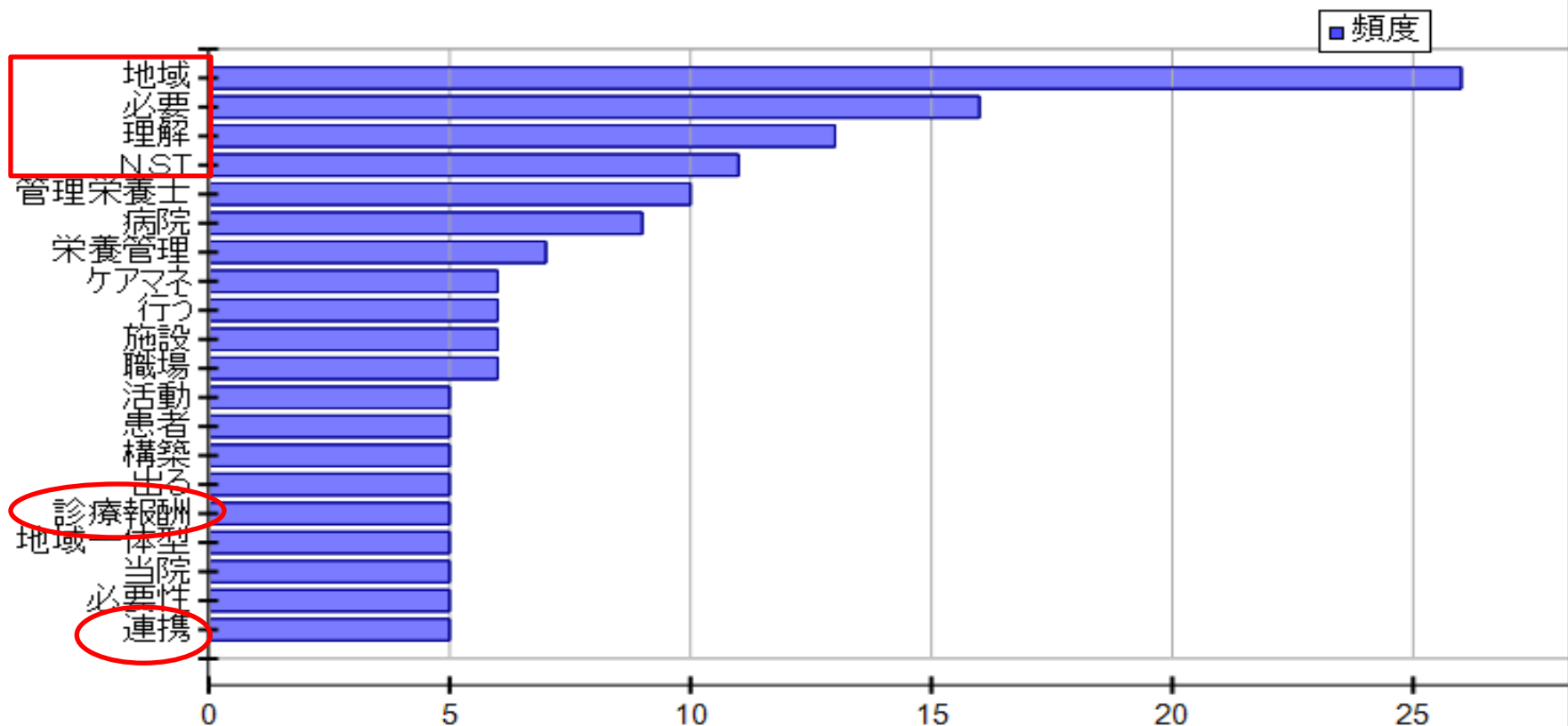


---

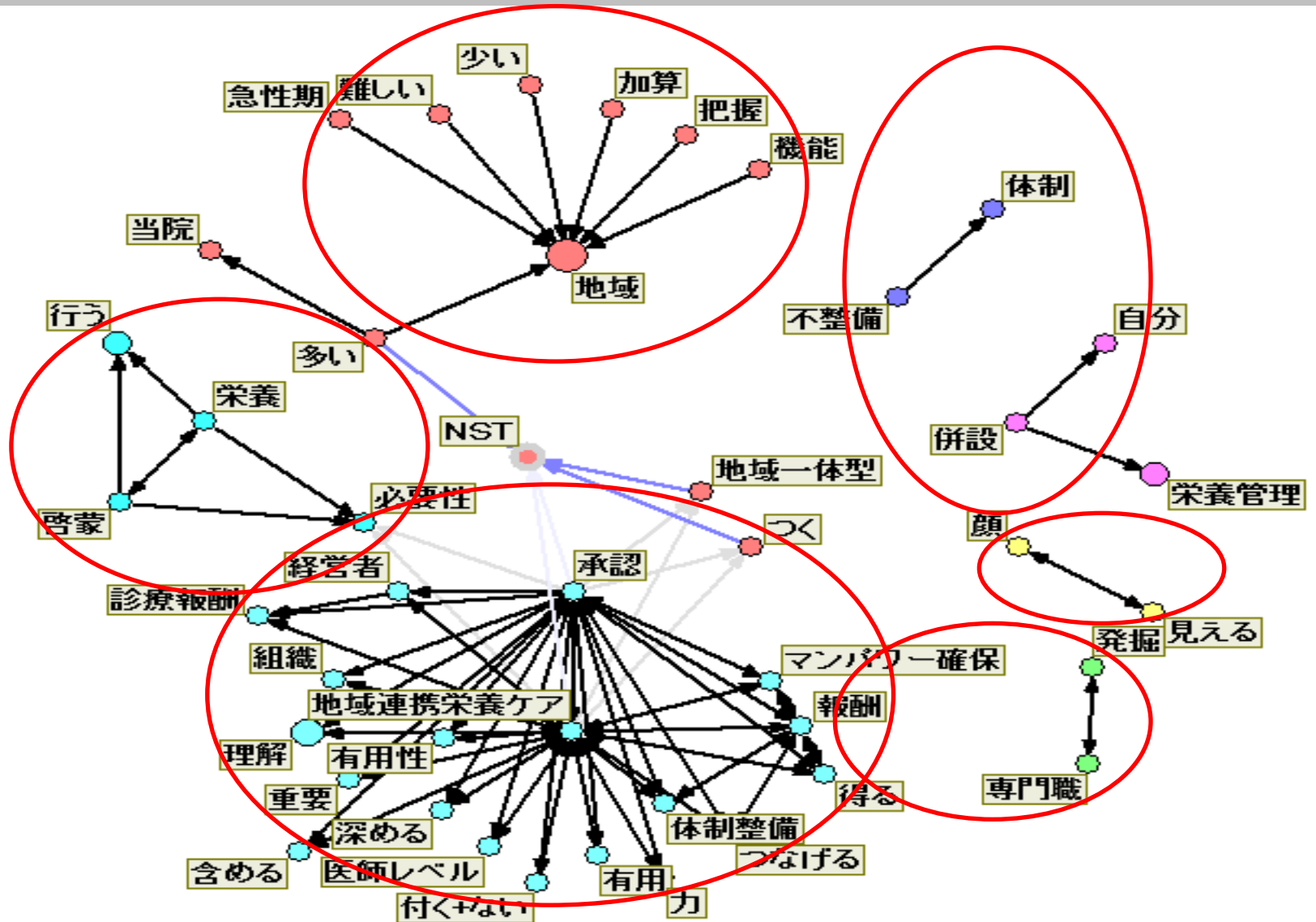
# 結果と考察(1)

地域一体型NSTの普及要因

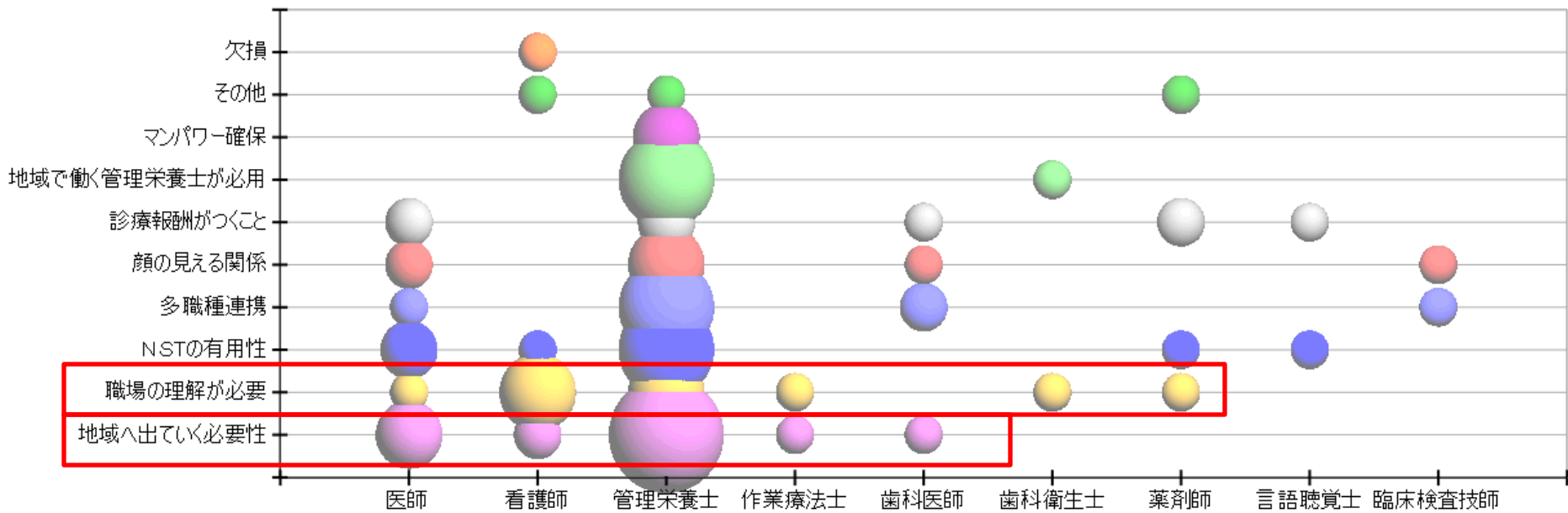
# 単語頻度解析 (データの大まかな内容をつかむ)



# ことばネットワーク図 (話題のまとまりを抽出)



# バブルチャート(属性と話題をクロス集計)



# まとめ(1) 地域一体型NSTの普及要因

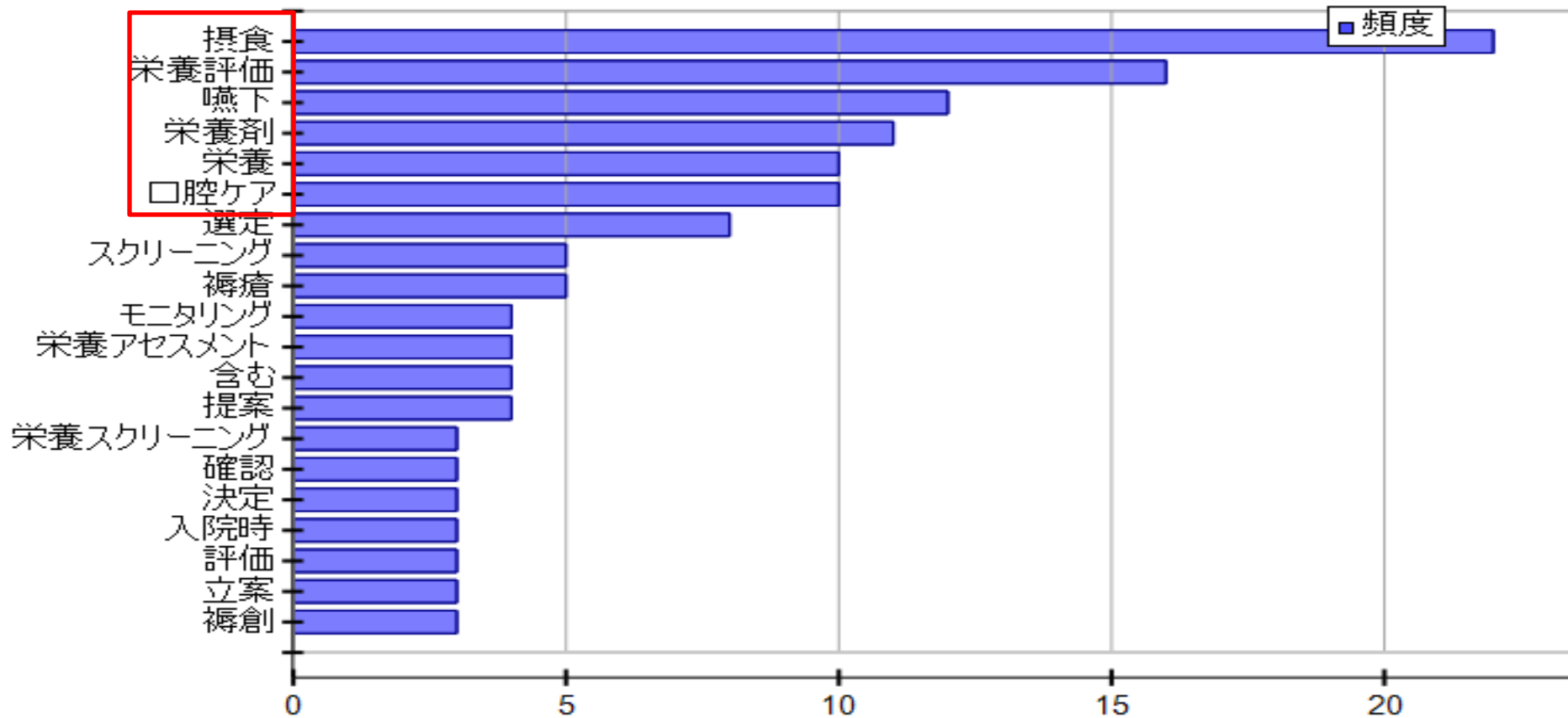
1. 地域でのNST活動が診療報酬などで認められること
2. 病院から地域へ出ていける体制を整備すること
3. 栄養療法の必要性を地域へ向けて啓蒙すること
4. 職場（医師や経営者）での理解や承認が必要であること
5. 地域で働ける専門職（特に管理栄養士）を発掘すること
6. 顔の見える多職種連携が重要であること

---

# 結果と考察(2)

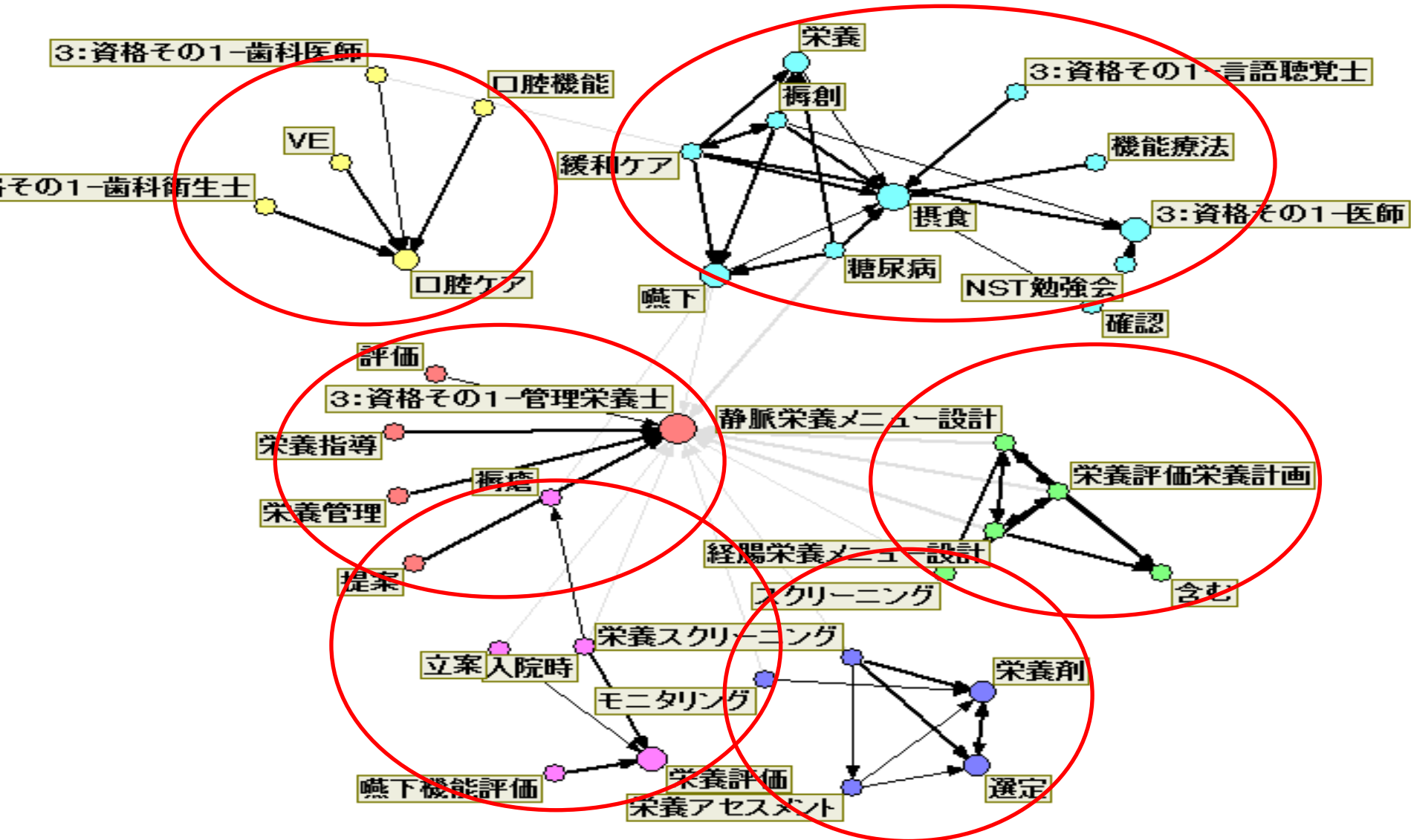
## 各専門職の役割認識

# 単語頻度解析 (データの大まかな内容をつかむ)

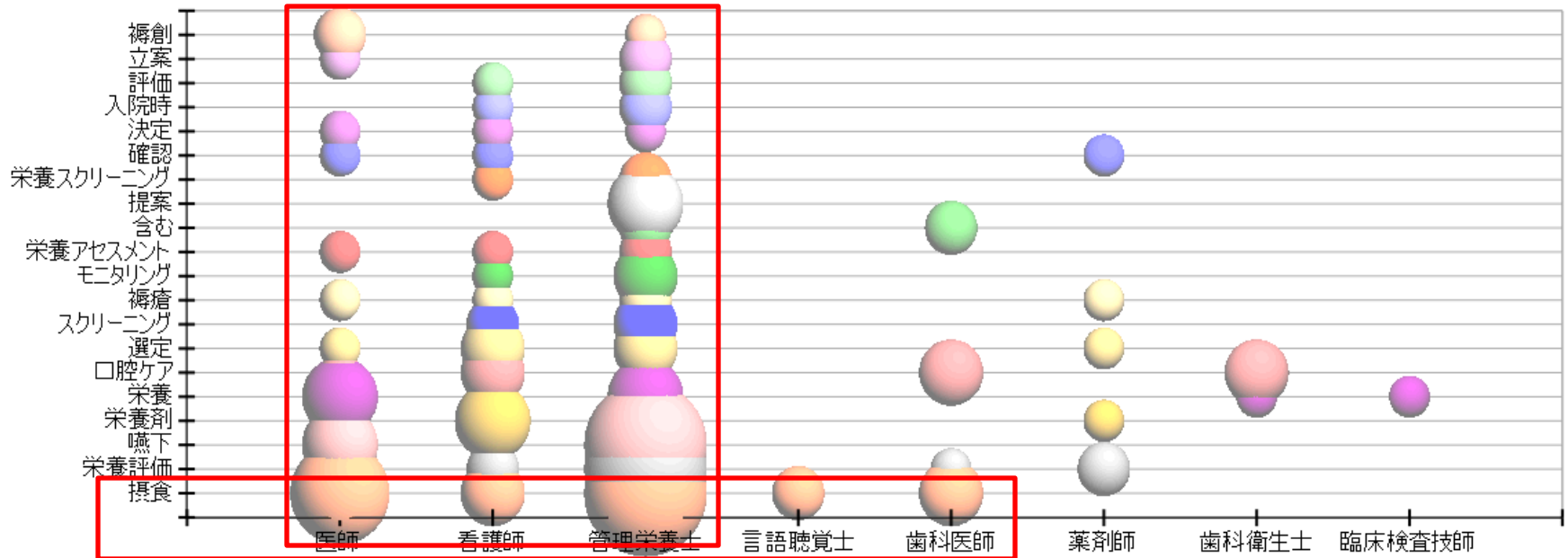




# ことばネットワーク図 (話題のまとまりを抽出)



# バブルチャート(属性と話題をクロス集計)



# まとめ(2) 各専門職に求められる役割

1. 「口腔ケア」「口腔機能」「VE」(歯科医師、歯科衛生士)
2. 「摂食」「嚥下」「緩和ケア」「糖尿病」(医師、言語聴覚士)
3. 「栄養指導」「栄養管理」「褥創」「評価」「提案」(管理栄養士)
4. 「静脈栄養、経腸栄養メニュー設計」(薬剤師)
5. 「栄養剤」「選定」(薬剤師)
6. 「モニタリング」「栄養スクリーニング」「栄養アセスメント」「入院」「嚥下機能評価」(看護師、管理栄養士)